

田尻だより

2019 年
8月 号
Vol. 15

次回の田尻だよりは
9月発行予定です。

担当：千葉 佳奈

皆さんこんにちは。いつも雁音米をご愛用下さいまして、ありがとうございます。

7月に入り、夏が来たなあと思っていたら、気温がなかなか上がらず5月下旬並みの気温とのことでした。半袖だけでは少し肌寒く感じる田尻です。

田んぼの稲もすくすくと育ってきました。稲は体を作り終わり、子供を作る準備期間（人でいう妊娠中です）になっています。8月10日頃に開花し、受精ができません。しかし、気温が15度以下（冷害）では受精ができません。生殖成長期に入ると、温度が必要になります。最低でも20度は欲しいものです。

1日の最高気温が20度以上あり、それが数時間あれば問題はありません。

カメムシが出てくると、お米の乳児期（牛乳の状態）の時にカメムシが針を出し、吸っていきます。そして、吸ったところが変色して黒くなることによ

り、カメムシがつくと黒くなるということです。乳児期が終わると、古熟期へと成長していきます。

梅雨明けは夏休み明けの予定から外れ、まだまだ梅雨明けしそうな感じです。梅雨の終わりはいつになるのでしょうか。

7月27日までに梅雨明けの予報です。

←田んぼの水生きもの
↓田んぼの稲



【新人日記】

寒暖差の激しい7月に入りました。梅雨明けがまだなので、湿気がじめじめして苦手です。梅雨明けが近づくとつれ、気温も上がってきました。暑すぎも苦手ですが、雨よりは好きな夏です。

水分、塩分補給を怠り、熱中症にならないように気をつけましょう！

米 暦～こめごよみ～

7月8日～ ホタテパワー流し込み

7月29日～ 中干し

